

大津赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	成人市中発症肺炎(COP)における肺炎球菌性肺炎の疫学研究 (No1014)
当院の研究責任者 (所属)	酒井 直樹 (呼吸器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	長崎大学熱帯医学研究所 呼吸器ワクチン疫学分野 森本浩之輔 前田遥 群馬大学大学院医学系研究科 呼吸器・アレルギー内科学分野/ 京都大学病院呼吸器内科 伊藤功朗
本研究の目的	背景と目的：肺炎球菌は、最も頻度の高い肺炎の原因菌です。65歳以上の高齢者には、この肺炎球菌に対するワクチンが定期接種となっています。肺炎球菌には90種類以上の型があり、現在の定期接種ワクチンはその中で23種類を予防するものです。また、肺炎球菌に対して本来効くはずの抗菌薬（例えばペニシリンなど）が効かないという薬剤耐性の問題が起こっています。肺炎球菌の型と薬剤耐性の関係や、これらの広がりの様子については、まだよくわかっていません。そこで、この研究では、患者さんの喀痰や血液の検査で出てきた肺炎球菌を用いて、これらの問題について研究することを目的とします。
調査データ 該当期間	2019年5月～2029年3月31日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 2019年1月から2029年3月の期間に肺炎球菌による肺炎と診断された18歳以上の患者さん ●利用する情報 検査で検出された肺炎球菌（菌株）と、患者さんの臨床データを用いて研究します。患者さんのお名前などの個人情報には用いません。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	肺炎球菌株の提供先（宅配便）： 京都大学 呼吸器内科 伊藤 功朗 長崎大学熱帯研究所 臨床感染症学分野 森本浩之輔 情報の提供先（電子的配信）： 長崎大学熱帯研究所 臨床感染症学分野 森本浩之輔
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さん特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	主たる施設である長崎大学では運営交付金・委任経理金を利用し、京都大学医学部附属病院は運営費交付金を用いて研究を行います。利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています

お問い合わせ先	電話：077-522-4131 担当者：呼吸器内科部長 酒井 直樹
備考	患者さんにとって、この研究にご協力いただくことで利益も不利益もあります。また、ご参加を拒否されても何ら不利益はありませんし、ご参加いただくことに対する謝礼も発生しません。 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究に関する資料を入手・閲覧する事が可能です。希望される方は研究責任者までお知らせください。 この研究は、長崎大学と京都大学と大津赤十字病院の医の倫理委員会で審査され、承認を受けたものです